



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第48号

—特集— 世界と交流する Exchange Program

平成22年12月



巻 頭 言

副会長 稲 葉 宗 通



だいぶ寒くなって参りましたが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。猛暑から解放されたかと思うと一気に雪のたよりが届き、秋が駆け足で過ぎて行ってしまったようです。少し前の毛呂山は、大学の坂道を上がって行くと銀杏の黄色やもみじや楓の燃えるような赤とで目を見張るような景色で覆われていましたが、今は枯れ葉が地上を染めて、その上を秩父風の冷たい風に乗って教育棟建設工事の乾いた音が響いています。それはまるで春の訪れを催促しているようであります。

今夏は、夏の異常気象とゲリラ豪雨による崖崩れによる自然災害が多発し、台風の強大化による被害など日本ばかりでなく世界各地でも大きな災害に見舞われた夏でした。埼玉県は日本で最も暑い地域の1つで、大学近郊の熊谷や鳩山は最高気温のランキングでは常連になっております。それを裏づけているのは、熱中症の患者数で最高ランクにあり、仕事上の熱中症で最初に亡くなった方は加須市在住でした。数えきれないほどの異常気象の一因として地球温暖化があり、二酸化炭素の削減、Eco運動が強く叫ばれた一年でもありました。特に乗用車ではハイブリット車の売り上げがNo.1となり、家庭電化製品においてもEcoポイントの導入もあって省エネ製品が販売をのびしたのも記憶に新しいところです。私たちは地球の環境を守ることを大目標にし、自分たちでできることを一つずつおこなって行くことが大切であります。例えばそれは私たちが家族を守る事と同じであります。

季節の移り変わりに目を奪われていた時、突然北朝鮮の砲撃があり、韓国軍が応戦したとの臨時ニュースが流れ、死者が出たことに心が痛み戦争に至らないことに安堵しました。この事件は北朝鮮の蛮行というだけに留まらず、関係する周辺各国の対応からは、巨大国の覇権争いが熾烈さを増しているものと不安を感じずにはいられません。それだけ各国の国内事情が窮している現れと考えられますが、平和を望む私たちにとって北朝鮮以外にも脅威となっていることは事実であります。そういった中で日本はどのように対応すべきか、国のリーダーの資質が問われているのも事実であります。今年最も売れた本で流行語の一つの「もしドラ」の元となったマネジメントの父で20世紀最大の知の巨人といわれるピーター・F・ドラッカーの言葉をかりれば、リーダーシップの本質は集団をよりよい方向へ導くための行動手段であり、リーダーは真摯でなければならないとしています。また具体的には「使命＝目標」「責任」「信頼」の3つのキーワードが重要な柱になるとものと述べていることから、国のリーダーのみならず、私たちが患者を診る場合にもグループをマネジメントする場合にも置き換えることができる言葉であります。

私たちみんなが自分自身を省みて、私たち自身の立場でドラッカーの言葉のような行動がとれる努力をすることで、家族や患者はもちろんのこと職場あるいは自然に対しても良い方向に導くことができるものと考えます。そして来る年が皆様にとってよい年となることを心より祈念致します。

お知らせ

落合記念賞研究助成金の公募について

第22回落合記念賞研究助成金を公募します。

第22回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を、下記の通り公募致しますのでご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第22回落合記念賞研究助成金応募要項

1) 申請資格者

埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成23年4月1日現在40歳未満の者とする。

2) 研究者

個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。

3) 研究期間

原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。

4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）

* 申請書—所定の書式用紙（3枚，7）に該当する者は4枚1組に記入のこと。

* 推薦書—所属学科長ないしは科長，またはそれらに代わる者を推薦者として，所定の書式用紙に記入のこと。

5) 申請期間

平成23年1月17日～3月末日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。

6) 助成金について

助成金は最高100万円までとする。

授与式は6月の同窓会総会で行う。

助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。

なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。

7) その他

申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、応募をご遠慮下さい。

原稿募集のお知らせ

埼玉医科大学医学部同窓会では、同窓会会報に載せる原稿を広く同窓生より募集しております。内容は特に問いません。同窓会あるいは大学に対するご意見、ご要望、または開業や近況報告など何でも結構です。埼玉医科大学医学部同窓会宛にお送りください。なお、ご掲載の可否に関しては会報編集委員会において検討させていただきご報告いたします。